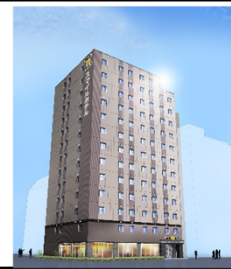




## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌すすきのプロジェクト	階数	地上13F
建設地	札幌市中央区南四条西1丁目13番1、14番、15番3、15番4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年7月26日
敷地面積	957㎡	作成者	
建築面積	671㎡	確認日	
延床面積	7,815㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <p>・華やかなデザインは避け、耐久性能に優れた押出成型セメント板を起用し、まちなみに調和するよう配慮している。また、効率のよい設備機器を採用して省エネルギーに配慮することにより環境に配慮した計画を行っている</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>・効率のよい空調機器や照明器具を採用して省エネルギーに配慮している</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>・ヒーティングを利用した雪処理対策がなされている</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>・節水器具を採用し、水資源の保護に配慮している</p> <p>・断熱材はフロン類を用いないA種を採用し、有害物質含有材料の使用回避に配慮している</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>・限られた敷地の中で可能な限り植栽を行っている</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される